

氏名（ふりがな）：有村 俊秀（ありむら としひで）

英文表記：Toshihide Arimura

現職の所属・役職：早稲田大学政治経済学術院教授

英文表記：Professor, Faculty of Political Science and Economics, Waseda University

専門分野：環境経済学

主たる研究テーマ：気候変動、カーボンプライシング、省エネルギー、大気汚染問題、グリーン調達

略歴（学歴・職歴）：

1992年 東京大学教養学部教養学科卒業

1994年 筑波大学大学院修士課程環境科学研究科修了、環境科学修士取得

2000年 ミネソタ大学大学院経済学研究科博士課程修了、Ph.D.取得

2000～2004年 上智大学経済学部 専任講師

2003～2004年 内閣府経済社会総合研究所 客員研究員

2004～2007年 上智大学経済学部 助教授（准教授2007～2011年）

2006年～ 環境経済・政策学会 理事

2006～2008年 未来資源研究所 客員研究員/ジョージメーソン大学 客員研究員

2010～2018年 環境省中央環境審議会（国内排出量取引制度小委員会）専門委員

2011～2012年 上智大学経済学部 教授

2012年4月～ 早稲田大学政治経済学術院 教授

2015～2017年 文部科学省 学術調査官

2016年4月～ 早稲田大学環境経済・経営研究所 所長

2018年～ 環境省中央環境審議会（国内排出量取引制度・カーボンプライシングの活用に関する審議）専門委員

2019年～ 東京都環境審議会 委員

主たる著書・論文等（5点以内）：

○「環境経済学のフロンティア」（共編著、2017年、日本評論社）

○「温暖化対策の新しい排出削減メカニズム：二国間クレジット制度を中心とした経済分析と展望」（編著、2015年、日本評論社）

○「地球温暖化政策と国際貿易：排出量取引と国境調整措置をめぐる経済学・法学的分析」（共編著、2012年、東京大学出版会）

○“Labor Market Distortions and Welfare-Decreasing International Emissions Trading”  
*Environmental and Resource Economics*, Vol. 74, pp. 271-293 (Co-Authors: Shiro Takeda and Makoto Sugino) (2019)

○“An Evaluation of Japanese Environmental Regulations –Quantitative Approaches from Environmental Economics-“（共著、2015年、Springer）